

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年8月6日（木）

2 確認箇所

- ・伐採木一時保管エリアG（図1）
- ・伐採木一時保管エリアH（図1）
- ・覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）
- ・瓦礫類一時保管エリアC（図1）

3 確認項目

- ・伐採木一時保管エリア及び瓦礫類一時保管エリアの状況

4 確認結果の概要

東京電力は、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指しており、各一時保管エリアにおいては廃棄物の保管のほか、分別や破砕、コンテナへの詰め替えなどの作業が実施されていることから、県では各エリアの状況等を定期的に確認している。

今回、伐採木一時保管エリアG、伐採木一時保管エリアH、覆土式一時保管施設※（瓦礫類一時保管エリアL）及び瓦礫類一時保管エリアCの4か所における廃棄物の保管等の状況を確認した。

※ 覆土式一時保管施設：高線量（～30 mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。

【伐採木一時保管エリアG】（前回確認時：令和8年5月15日）

- ・エリア南東側にある一時保管槽では、前回確認時に引き続き、廃棄物が遮水シートで覆われた状態で保管されており、一時保管槽ごとにガス抜き管及び温度計が設置されているなど、状況に変化はなかった。（写真1）
- ・温度計の表示温度は、確認した範囲において、東京電力の対応目安となる基準温度（60℃）を下回っていた。また、一時保管槽からの内容物の飛散・流出や遮水シートの破損等の異常は確認されなかった。
- ・エリア北西側では、前回確認時に引き続き、1 m³コンテナや金属くず等が保管されていた。（写真2）

【伐採木一時保管エリアH】（前回確認時：令和8年8月4日）

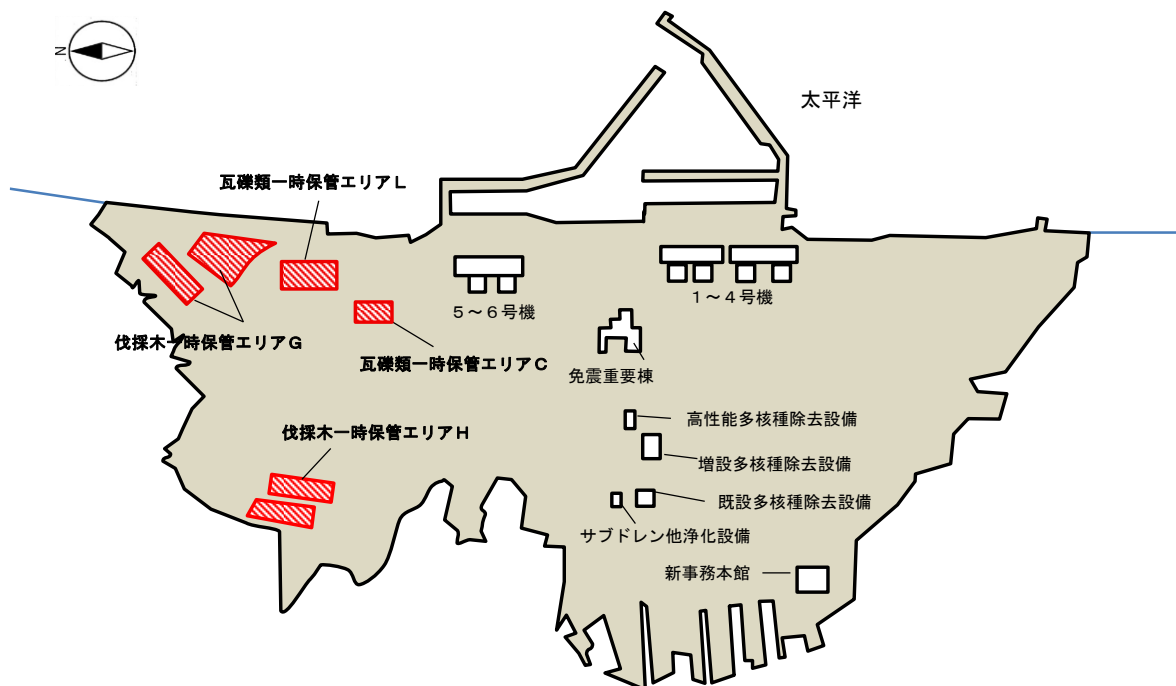
- ・エリア西側を確認したところ、前回確認時に引き続き、破砕済みの木くず等を収納した1 m³コンテナが保管されていた。（写真3）
- ・また、現場確認時には、8月5日に運転を再開した増設雑固体廃棄物焼却設備への伐採木の搬出作業が行われていた。（写真4）
- ・当該エリアにおいて、廃棄物の飛散・流出等の異常は確認されなかった。

【覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）】（前回確認時：令和8年7月28日）

- ・前回確認時に実施されていた、作業車両搬出用の小テントへの雨水流入対策（U字溝の設置工事）は完了していた。（写真5）
- ・また、現場確認時には、第1槽から第4槽までの一時保管槽のうち、第3槽からの廃棄物の取り出し作業に向けて、作業用通路の設置や車両搬入用の敷鉄板の敷設作業が新たに行われていた。（写真6）
- ・当該エリアにおいて、廃棄物の飛散・流出等の異常は確認されなかった。

【瓦礫類一時保管エリアC】（前回確認時：令和8年4月22日）

- ・エリア北東側から現地確認を実施したところ、確認した範囲では作業が行われていなかったものの、エリア内には重機等が配置されており、前回確認時に引き続き、瓦礫類の取り出し作業が進められている状況であった。（写真7）
- ・当該エリアにおいて、廃棄物の飛散・流出等の異常は確認されなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1) 伐採木一時保管エリアG南
東側 ※今回確認時



(写真 1 - 2) 伐採木一時保管エリアG南
東側 ※前回確認時



(写真 2 - 1) 伐採木一時保管エリアG北
西側 (1 m³コンテナの保管)



(写真 2 - 2) 伐採木一時保管エリアG北
西側 (金属くず等の保管)



(写真 3) 伐採木一時保管エリアH西側
(1 m³コンテナの保管)



(写真 4) 伐採木一時保管エリアH西側
(1 m³コンテナの搬出作業)



(写真 5 - 1) 瓦礫類一時保管エリアL
(小テント前に敷設されたU字溝) ①



(写真 5 - 2) 瓦礫類一時保管エリアL
(小テント前に敷設されたU字溝) ②



(写真 6－1) 瓦礫類一時保管エリア L
(作業用通路の設置)



(写真 6－2) 瓦礫類一時保管エリア L
(敷鉄板の敷設)



(写真 7) 瓦礫類一時保管エリア C の全景 (エリア北側より撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。